

## 病院総合医認定申請書 1/2

	申請日	西暦	2019	年	3	月	10	日
1.認定施設名	日本病院会病院							印 ※1
2.病院管理者 氏名	氏名	姓	田中	名	太郎			
3.病院総合指導医 氏名	氏名	姓	渡辺	名	花子	印 ※1		

次の病院総合専修医は所定の研修を修了し、日本病院会認定の病院総合医として推薦できる人物であると判断しましたので、修了証明書を発行し、病院総合医の認定申請を致します。

4.病院総合専修医 氏名	フリガナ	ヤマモト		ジロウ		印 ※1		
	氏名	姓	山本	名	次郎			
5.研修期間 ※2	西暦	2018	年	4	月	1	日	から
	西暦	2019	年	3	月	31	日	修了見込
6.総合的医療の 研修実績 ※3	2016年9月まで他施設にて主に外科医師として勤務。手術、麻酔、周術期管理、救急、緩和ケア、プライマリ・ケア等、幅広く様々な総合的医療を経験してきた。2016年10月より、当院で総合診療科医長として従事している。当院では外科的診療に特化するのではなく、総合医として救急外来、総合外来、病棟医等の診療を積極的に実践している。このような診療経験から十分な総合的医療の実績があるとし、研修期間を1年間に短縮した。							
7.総合評価 ※3	総合外来や病棟で診療科横断的な医師業務を実践した。総合的医療の実践のみならず、褥瘡ケア、嚥下ケア、排泄ケア、栄養ケアなど、各職種が行う様々なケアに対して、ケアカンファランスや多職種回診などに医師として率先して参加し、多職種協働による患者中心の医療・ケアを積極的に実践した。病院の総合医として、担当病棟の入院患者約40人の回診を毎日行い、患者が抱えている様々な問題や悩みについてしっかり耳を傾け、医師として適切な対応をするとともに、各職種への情報共有に心掛けた。このような取り組みにより、医師のみならず、看護師や医療スタッフの業務支援はもちろん、働きやすい職場環境づくりや時間外労働時間の短縮など、働き方改革にも十分に貢献した。到達目標を十分達成したと考えられる。							

※1 郵送のものに押印してください。(メール提出は押印不要)

※2 研修期間を記入してください。基本は4月1日から3月31日修了見込です。

※3 記入要領及び記入例に従って記入してください。

## 病院総合医認定申請書 2/2

病院総合専修医 氏名	氏名	姓	山本	名	次郎			
8.5つのスキルに 対する評価 ※3								
8-1. インテグレーションスキル 評価コメント ※4	病院総合専修医自己評価	B	病院総合指導医評価	B				
	総合外来において、複雑・多様な疾病を数多く経験し、常に倫理観や人間性をもった医療を実践した。病棟では病棟医として、主疾患のみならず、併存疾病に対して包括的医療を実践した。							
8-2. コンサルテーションスキル 評価コメント ※4	病院総合専修医自己評価	A	病院総合指導医評価	A				
	初診後に専門医による診察や処置が必要と判断する際の迅速な対応のみならず、コンサルト後も専門医の専門的治療へのアプローチ法やそのアウトカムについて学び、各専門領域の知見を深めた。							
8-3. コーディネートスキル 評価コメント ※4	病院総合専修医自己評価	B	病院総合指導医評価	B				
	各職種の業務を十分に理解し、尊重し、多職種をまとめるリーダーとして貢献した。常にコミュニケーションに心掛けるとともに、働きやすくやりがいのある病棟づくりに貢献した。							
8-4. ファシリテーションスキル 評価コメント ※4	病院総合専修医自己評価	B	病院総合指導医評価	B				
	入院患者の生活機能維持のため、栄養・排泄・睡眠のコントロールを多職種協働でケアし、チーム医療の活性化に努めた。ケアカンファランスを行うなど、多職種のケア支援にも努めた。							
8-5. マネジメントスキル 評価コメント ※4	病院総合専修医自己評価	B	病院総合指導医評価	A				
	在宅医療や地域医療に関する研修会に多数参加し、地域包括ケアシステムに必要な医療のあり方について学んだ。病棟医として多職種が働きがいのある職場づくりのマネジメントを実践した。							
9.臨床研修指導医 講習会修了日 ※4	西暦	2018	年	6	月	3	日	修了

※3 記入要領及び記入例に従って記入してください。

※4 臨床研修指導医講習会修了日を記入してください。

※5 病院総合専修医自己評価及び病院総合指導医評価は、プルダウンメニューから選択してください。